

第1回国立大学法人奈良教育大学経営協議会議事要旨

1. 日 時 平成25年5月30日（木）
2. 出席者 江原武一委員、仲川順子委員、前原金一委員
長友学長、生田理事（教育）、宮崎理事（総務）、伊豆蔵副学長（企画）、中谷副学長（研究）
陪席者 加藤副学長（国際交流・地域連携）

3. 議 題

◎審議事項

- 1 平成26年度概算要求について（資料1）

◎報告事項

- 1 平成25年度前期授業料等免除について（資料2）
- 2 平成25年度科学研究費補助金の採択状況等について（資料3）
- 3 中期計画の変更の認可について
- 4 平成25年度会計監査人の選任について（資料4）
- 5 受験者数について（資料5）
- 6 大学改革推進事業の現状について（資料6）

4. 議 事

◎審議事項

- 1 平成26年度概算要求について

総務担当理事、財務課長から、資料1に基づき概算要求の考え方、取り組み状況について説明があり、審議の結果、方向性が了承された。なお、特別経費事項（プロジェクト、基盤的設備等整備分）については6月経営協議会で改めて審議を行う。

主な意見は以下のとおり。

- 三教育大学連携事業は、日本で最も注目されているプロジェクトの一つである。これを強いテコとして奈良教育大学の存在感を示していくことが大事。三大学の役割分担を明確にし、日本の10年、20年先のビジョンをつくってもらいたい。
- 現在、韓国、中国からの留学生が約8割を占めるが、今後、ASEAN諸国、インド、アフリカからの留学生が急速に増え、この割合が変わってくることが予想される。
- 日本に来た国費留学生のトレースが全く来ていないことから、日本に来た留学生のネットワークづくりを行う動きが政府内にある。
- 東南海地震が発生した場合、奈良の被害は比較的少ないと思われることから、三大学が連携し他の大きな被害が予想される周辺他府県に対してどういう事が出来るのか。バックアップセンター機能としての構想を考えておけば本学の役割がより明確なものとなるのではないか。

◎報告事項

- 1 平成25年度前期授業料等免除について
財務課長から、資料2に基づき報告があった。
- 2 平成25年度科学研究費補助金の採択状況等について
研究担当副学長から、資料3に基づき報告があった。

- 3 中期計画の変更の認可について
教育担当理事から、3月29日付けで文部科学省の承認を得た旨報告があった。
- 4 平成25年度会計監査人の選任について
総務担当理事から、資料4に基づき説明があり、文部科学大臣に対し、本学会計監査人として
あずさ監査法人を推薦した旨報告があった。
- 5 受験者数について
教育担当理事から、資料5に基づき入試の志願者数、入学者の推移について報告があった。
- 6 大学改革推進事業の現状について
学長から、資料6に基づき報告があった。
主な意見は以下のとおり。
 - 大学改革の一環として、更なる地域との連携、市民活動との融合を取り入れてみてはどうか。
 - 政権が変わり教育予算増が期待されることから、教育者の養成について意欲的なプログラムを
出せば予算措置される可能性がある。
 - 現在ある貸与型奨学金だけでなく給付型奨学金の必要性について意見を伺いたい。
→必要性を感じる
 - 英語で日本の歴史をきちんと話せる教師の育成をしていただきたい。
 - 三教育大学に無い特色をもった大学として上智大学、ICU大学などがある。これら大学と提
携を考えてみてはどうか。

◎その他

- 1 平成24事業年度に係る業務の実績に関する報告書について（資料7-1、-2、-3）
教育担当理事から、資料7-1、-2、-3に基づき説明があった。